

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	がっこうほうじん おおさかおんがくがいがく 学校法人 大阪音楽大学	団体ウェブサイトURL	https://www.daion.ac.jp/
代表者職・氏名	理事長 中村 孝義		
制作団体所在地	〒 561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1丁目1番8号	最寄り駅(バス停)	阪急宝塚線 庄内駅
電話番号	06-6336-2001(楽団直通)		
ふりがな 公演団体名	かんげんがくだん ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団	団体ウェブサイトURL	https://www.daion.ac.jp/campus/opera/opera-orchestra/
代表者職・氏名	ザ・カレッジ・オペラハウス館長 中村 孝義		
公演団体所在地	〒 561-8555 大阪府豊中市庄内幸町1丁目1番8号	最寄り駅(バス停)	阪急宝塚線 庄内駅
制作団体 設立年月	1915年 10月		
制作団体組織	役職員 理事長 / 中村 孝義 常任理事 / 十川 輝明、本山 秀毅、 福井 慎吾、岡野 幸義 理事5名、監事2名、評議員11名	団体構成員及び加入条件等 《ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団》 構成員58名、事務局員6名 加入条件:採用オーディションによる	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	オーケストラマネージャー 木全 美和
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	連携・演奏事務部門長 古賀 章太
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	oh.orch@daion.ac.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>1915年 創立者永井幸次により、大阪音楽学校を開校。  1958年 大阪音楽大学開学。  1988年 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団発足。  1989年 ザ・カレッジ・オペラハウス開館。柿落し公演として「ファルスタッフ」を上演。  1999年 (オペラハウス管弦楽団)東京文化会館と滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにて、黛敏郎作曲「金閣寺」を上演。  2000年 オペラハウス管弦楽団の演奏が評価され、「第20回音楽クリティック・クラブ賞」を受賞。  2005年 (オペラハウス管弦楽団)松村禎三作曲「沈黙」の再演で文化庁芸術祭大賞を受賞。  2009年 (オペラハウス管弦楽団)学校巡回公演事業、参加開始。  2014年 文化庁委託事業「平成25年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として「ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団・新国立劇場合唱団合同演奏会とオペラ合唱ワークショップ」を開催。</p> <p>2021年 大阪音楽大学附属音楽院にてジュニア・オーケストラ発足。オペラハウス管弦楽団正指揮者、コンサートマスター、楽団員が講師として指導にあたる等、未来の文化芸術を担う子供たちの育成にも力を注いでいる。</p>					
<p>学校等における公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－」11公演</li> <li>・令和2年度「文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－」6公演 「子供のために文化芸術体験機会の創出事業」5公演</li> <li>・令和3年度「文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－」14公演 「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」2公演</li> <li>・令和4年度「文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－」12公演 「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」6公演</li> <li>・令和5年度「舞台芸術等総合支援事業－学校巡回公演事業－」 (予定)A区分7公演／C区分8公演</li> </ul>					
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」 杉並区立済美養護学校</li> <li>・平成27年度「文化芸術による子供の育成事業」 宮崎県立日南くろしお支援学校</li> <li>・平成30年度「文化芸術による子供の育成事業」 広島県立庄原特別支援学校</li> <li>・令和3年度「文化芸術による子供の育成総合事業」 滋賀県立野洲養護学校(C区分)</li> <li>・令和4年度「文化芸術による子供の育成推進事業」 滋賀県立野洲養護学校(A区分)</li> </ul> <p>ワークショップ・公演実施にあたり、開催校からの要望や状況をヒアリングし、特別プログラムや時間の短縮など、各学校に合わせて柔軟に対応し実施しています。</p>					
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>				
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/9B3gg7MFgDo">https://youtu.be/9B3gg7MFgDo</a></p>				
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:	
ID:						
PW:						

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	オペラハウスへようこそ！ ～ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 オークストラ公演～			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>1.ロッシーニ/歌劇「ウィリアムテル」より 序曲“スイス軍の行進”  2.【楽器紹介】各楽器をお話しと演奏を交えながら紹介  3.グリーグ/「ペール・ギュント 第1組曲」より “朝” “山の魔王の宮殿にて”  4.オペラ・アリア1曲 オペラ歌手による独唱曲</p> <p>～～～ 休憩 約15分 ～～～</p> <p>5.【共演①】開催校校歌  6.【共演②】指揮者体験コーナー ビゼー/歌劇「カルメン」より 前奏曲  7.【共演③】下記A～Bの中から1曲を選択 ※Aでは、下記以外の曲目にも相談可能です。  A.合唱 杉本竜一/ビリーヴ 村井邦彦/翼をください  B.手拍子リズム ロッシーニ/歌劇「ウィリアムテル」序曲  8.チャイコフスキー/バレエ組曲「くるみ割り人形」より “花のワルツ”  9.【アンコール】オッフェンバック/喜歌劇「天国と地獄」より 序曲</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当あり	該当コンテンツ名	共演③で学校の希望曲を編曲する場合、 許諾手続きが必要になる可能性有り
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況	採択後手続き予定
演目概要	オーケストラの迫力ある演奏やオペラ歌手の歌声などじっくり鑑賞いただく曲と、子ども達との共演曲を分けて構成することで、初めてオーケストラを聴く子供たちが集中力を切らさず、変化に富んだ公演となるよう構成しています。 ※別添を参照ください。			
演目選択理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オペラアリアやバレエ音楽、組曲など『オペラハウス』に纏わる作品と、耳馴染みのある名曲を織り交ぜ、選曲いたしました。</li> <li>・「くるみ割り人形」花のワルツは、日常生活の中で子供たちにも耳に慣れ親しんだ曲であり、学校関係者の方々からも高い支持をいただいていることから、楽団内でも熟考し引き続き選択しております。</li> <li>・リダクションを施した場合でも、原曲と遜色がなく聞いていただける曲目で構成しています。</li> <li>・公演の後半に「共演」を配置することにより、小学校低学年でも飽きずに集中力を保てるよう構成しています。</li> </ul>			
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>【共演①】開催校校歌 各学校の校歌をオーケストラ版に編曲し、全校児童・生徒の皆さんと一緒に歌って頂きます。 オーケストラの伴奏で歌う校歌は、公演がより思い出深く忘れられない体験となります。</p> <p>【共演②】指揮者体験コーナー まずは全校児童・生徒の皆さんで指揮を練習した後、代表者3名にオーケストラの指揮に挑戦していただきます。それぞれの指揮で変化する音楽を、指揮に挑戦する子ども達自身や鑑賞している児童・生徒の皆さんにも感じて頂きます。</p> <p>【共演③】共演コーナー A. 合唱 B. 手拍子リズム から選択 「合唱」共演では、人気の高い曲や音楽の授業等でも子供たちにも馴染みのある曲を選曲しました。 「手拍子リズム」では、ワークショップで練習したそれぞれの学校オリジナルのリズムを叩き、共演してもらいます。</p>			
出演者	[指揮] 牧村邦彦 他 [歌と司会] 歌手1名 内藤里美、端山梨奈、清原邦仁、迎 肇聡 他 (予定) [管弦楽] ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 (変則1管3型) 23名			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 25 名 スタッフ: 7 名 合 計: 32 名	運搬	積載量: 2 t 車 長: 6.3 m 台 数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み・リハーサル	上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	9:00～12:00	13:30～14:50	15分	14:50～16:00	16:00
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	4日	15日	7日	19日	18日	
	11月	12月	1月	計	90日	
	9日	14日	4日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	～300名程度(演奏スペースを除き、会場に入る範囲内で)
		鑑賞人数目安	～300名程度(演奏スペースを除き、会場に入る範囲内で)

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。




- ・オーケストラは体育館のフロア面に設置いたします。
- ・舞台設置に必要な広さ  
演奏スペース【幅 約10m、奥行き 約8m】  
ステージおよび舞台袖は、楽器ケース等の置き場として使用予定(緞帳は閉めます)
- ・体育館が狭い場合は、体育館の横方向に設置する場合があります。
- ・午前公演を希望される場合、前日仕込み(2時間程度)が必要です。

【公演団体名 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	～300名程度 (会場に入る範囲内で実施可能)
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>オーケストラの演奏者4名(合唱共演の場合は、内1名はオペラ歌手)と、スタッフ2名が伺い、2時限程度で実施いたします。</p> <p><b>【オーケストラについて・楽器紹介】</b> オーケストラはどんなものなのか、スクリーンに楽器の写真を投影しながら、演奏とお話を交えながら各楽器を分かりやすく紹介します。</p> <p><b>【ミニコンサート】</b> アンサンブルの生演奏をお届けいたします。</p> <p><b>【指揮者体験】</b> 指揮者の役割について説明を行い、全員で指揮の練習をしたあと代表者3名に指揮に挑戦していただきます。</p> <p><b>【共演曲指導】</b> ※選択いただく共演曲によって内容は異なります。</p> <p><b>A.合唱</b> 歌うときの呼吸や姿勢、大切なポイントなど、プロのオペラ歌手による歌唱指導を中心に行います。</p> <p><b>B.手拍子リズム</b> メンバーのリズムを真似しながら、身体を叩いて楽器にします。 各学校それぞれの“オリジナルリズム”を作り、本公演での共演に向けて練習します。</p> <p><b>【質問コーナー】</b> 音楽や楽器について、なかなか聞くチャンスが無い質問を直接お答えします！</p>		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>まずは「楽器」や「オーケストラ」に興味を持っていただけることを目標とします。 各楽器について知識を深め、ソロ演奏やアンサンブル演奏を聴いたり実際に指揮を体験することにより、本公演に向けて子供たちの「楽器」「オーケストラ」に対しての関心や期待感を高めます。</p> <p>共演曲指導については、プロの演奏者の指導を受けることで、本公演に向けての意識を高め、「他者と協力しながら『オーケストラとの共演』というひとつの目的に向けて取り組む」ことで、学校全体がひとつのチームとなり、協調性や共感性など子供達の心の育成にも繋がります。</p> <p>「質問コーナー」では、子供達と演奏者との交流を図り、「音楽家」そのものへの興味関心へつなげ、演奏者や歌手を身近に感じてもらうことも意図しています。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「合唱」共演を希望される場合は、学校側での事前練習をお願いいたします。</li> <li>・「手拍子リズム」共演を希望される場合は、学年を限定し、時間短縮2回での実施も可能です。</li> <li>・ワークショップでは、ピアノ・プロジェクター・打楽器など、学校の備品をお借りいたします。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		



本事業への申請理由

【公演団体名 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b></p> <p>メディアを通じ手軽に文化芸術に触れ音楽を聴くことが出来るようになった昨今ですが、直接オーケストラやオペラ歌手の生演奏に触れることから得られる感動は計り知れません。本事業でオーケストラやオペラに触れる機会を通し、「音楽」「オーケストラ」への興味関心の向上を図るとともに、子供たちの「想像力」「創造力」など心の育成にも繋がることを目標とし、取り組みます。</p> <p>世界中に様々な楽器や音楽があるように、多様な社会においても「他者と協力してひとつのものを創り上げる喜びや楽しさ」を感じてもらい、「協調性」を育む機会にもしたいと思います。</p> <p>実施にあたっては、1回毎のワークショップや本公演を大切に、「改良点はないか」事務局・楽団員共に積極的な意見交換をし、常により良い実施内容となるよう努めてまいります。</p> <p>ワークショップでは、物理的や心理的にも子供たちと近い距離で実施することにより、“演奏家”や“楽器”を身近に感じ、より興味を持てるよう工夫しています。</p> <p>本公演では、耳馴染みのある曲を多く取り入れることで、クラシックやオーケストラへの興味を深める機会に繋がりたいと思っています。</p> <p>また、歌と司会担当としてプロのオペラ歌手をゲストに迎え、歌声の魅力を十分に引き出すオペラアリアをプログラムに取り入れます。</p> <p>オーケストラの生演奏だけではなく、普段聴くことのできないオペラの歌声を聴いていただくことも、重要なポイントとしてプログラムを構成しています。</p> <p>身体が楽器のオペラ歌手の歌声を体感することにより、オーケストラだけではなくオペラについて知り、興味や関心を持つきっかけとなることを目指すと同時に、オペラ公演を中心に活動している当楽団の特性が活きることもねらいとしています。</p> <p>さらには、大きな音が苦手な児童生徒への配慮や、(学校からの要望がある場合は)他の児童生徒と一緒に空間で参加が難しい子供たちにも、リモートで鑑賞して頂くなど、柔軟な対応することで、将来を担うすべての子供たちに豊かな感性を育む機会を分け隔てなく届けられるよう工夫しています。</p> <p>C区分公演においては、小編成オーケストラ用にリダクションを施し演奏の質を保つことにより、文化的な地域格差の解消を促進できるよう努めてまいります。</p> <p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b></p> <p>過去の公演資料を提示するなど、初めて本事業を実施される学校の先生方にも、より具体的に公演をイメージしていただき、安心して公演当日を迎えて頂けるように工夫しております。言葉や文字だけでなく、記録写真や簡単な舞台図など、視覚的に公演を捉えていただくことで、事業を円滑に進めることにも繋がっています。</p> <p>本公演に向けての打合せにおいては、実施に関する確認事項をまとめた資料を事前に送付することで、当日の打ち合わせもスムーズに進められています。</p> <p>また学校によって実施環境や要望が異なる為、丁寧な説明やヒアリングを行うことで、各学校に合わせた柔軟な対応が可能となっています。</p> <p>会場の広さと鑑賞人数の関係で1回公演での実施が難しい場合でも、学校からの要望を十分に考慮した上で公演内容を変更するなど、臨機応変な対応を取ることが事業を円滑に実施できることに繋がっております。</p>
--	--

## C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団】

<p>C区分で事業を実施するに当たっての工夫</p>	<p><b>① 離島・へき地等における公演実績</b></p> <p>○平成27年度 「文化芸術による子供の育成事業 -巡回公演事業-」にて 実施校: 和泊町立内城小学校[鹿児島県]</p> <p>○令和3年度 「文化芸術による子供の育成総合事業 -巡回公演事業-(C区分)」にて、9校公演実施 十津川村立十津川第二小学校[奈良県]、青梅市立第六中学校[東京都]、 下妻市立総上小学校[茨城県]、甲府市立大藤小学校[山梨県]など ※採択16校のうち、コロナウィルスの影響により7校は公演中止</p> <p>○令和4年度 「文化芸術による子供の育成推進事業 -巡回公演事業-(C区分)」にて、5校公演実施 実施校: 潟上市立東湖小学校[秋田県]、加美町立賀美石小学校[宮城県]など</p> <p>「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」にて、2校公演実施 八代市立泉小・中学校[熊本県]など</p> <p>○令和5年度 「舞台芸術等総合支援事業 -学校巡回公演事業-(C区分)」にて、7校公演実施予定 雲南市立海潮中学校[島根県]、北広島町立大朝中学校[広島県]、 野迫川村立野迫川小中学校[奈良県]、宇陀市立室生小学校[奈良県]など</p> <p><b>② 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出演者数を小規模にし、楽器以外の備品の物量を削減することにより、移動や運搬に制限がある地域においても、スムーズな移動・運搬が可能となっています。</li> <li>＜小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫＞</li> <li>・リダクションを施しても遜色のない曲で構成することにより、演奏の質を保ち、大編成に劣らない公演の実施が可能となります。</li> <li>・ワークショップについては、A区分と同等の実施が可能。 小規模学校の場合は、より近い距離や様々な角度から各楽器の演奏を見聞きすることで、楽器について新たな発見や興味を持ってもらえるような工夫を取り入れています。 また、物理的にも心理的にも距離感が近くなることにより、子ども達と積極的なコミュニケーションを取りながら共演指導を実施することができます。</li> </ul> <p><b>③ C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器や備品の物量を削減することにより、舞台スタッフ人件費・楽器運搬費が大幅に削減できます。</li> <li>・出演者を小規模編成とすることで、出演料や旅費を抑えられます。</li> <li>・ライブラリアンが舞台スタッフを兼任することで、人件費・派遣費が削減できます。</li> </ul>
----------------------------	--

リンク先	No.2	【公演団体名 <b>ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団</b> 】
演目概要	<p>◆<b>ロッシーニ／歌劇「ウィリアムテル」より 序曲“スイス軍の行進”</b>          イタリアの作曲家ロッシーニの生涯最後のオペラ「ウィリアム・テル」より“スイス軍の行進”          華々しいファンファーレで演奏会のオープニングを飾ります。</p> <p>◆<b>楽器紹介</b>          オーケストラを構成する楽器たちを、弦・木管・金管・打楽器の順にお話と演奏を交えながら紹介。</p> <p>◆<b>グリーグ／「ペール・ギュント 第1組曲」より “朝” “山の魔王の宮殿にて”</b>          劇付随音楽「ペールギュント」を題材にした組曲。          フルートの美しく爽やかな音色ではじまる「朝」、ゆったりとした不気味な低音から始まり、加速する音楽が          主人公ペール・ギュントが魔王の宮殿から逃げ出す様子を表した「山の魔王の宮殿にて」。</p> <p>◆<b>オペラ・アリア</b>          オーケストラの楽器とは異なり、身体が楽器となるオペラ歌手。          会場いっばいに響き渡る美しい歌声が体感できるのも、聴きどころのひとつです！</p> <p>♪<b>開催校校歌</b>          普段はピアノ伴奏で歌っている校歌をオーケストラの特別ヴァージョン版へアレンジ♪          オーケストラと一緒に音楽を奏でる素晴らしさを、子供たちに体感して頂きます。</p> <p>♪<b>指揮者体験コーナー</b>          全員で指揮の練習をした後、代表3名の方にオーケストラの指揮に挑戦していただきます。          目の前でオーケストラが鳴り出す臨場感などをより身近で体感していただきます。</p> <p>♪<b>共演コーナー</b>          「合唱」「手拍子リズム」のいずれかから1曲を選択し、オーケストラと一緒に共演していただきます。          オーケストラと児童・生徒、会場の皆さんで一体となり演奏することで、「音楽」そのものが持つ“空間や時間          を共有し、ひとつの事を共に創り上げる喜び”を体験していただきます。</p> <p>◆<b>チャイコフスキー／バレエ組曲「くるみ割り人形」より “花のワルツ”</b>          演奏会のフィナーレを飾るのは、ロシアの作曲家チャイコフスキーのバレエ組曲「くるみ割り人形」。          物語はクリスマスの夜のお話で、“花のワルツ” は物語の後半、おとぎの国の妖精たちがお菓子のお城          でダンスを踊る場面の音楽。優美な旋律は、きっとどこかで耳にしたことがあるはず。</p> <p>【<b>アンコール</b>】<b>オッフェンバック／喜歌劇「天国と地獄」より 序曲</b>          運動会のBGMでも良く使われるテンポの良い「天国と地獄」序曲で、演奏会を締めくくります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	